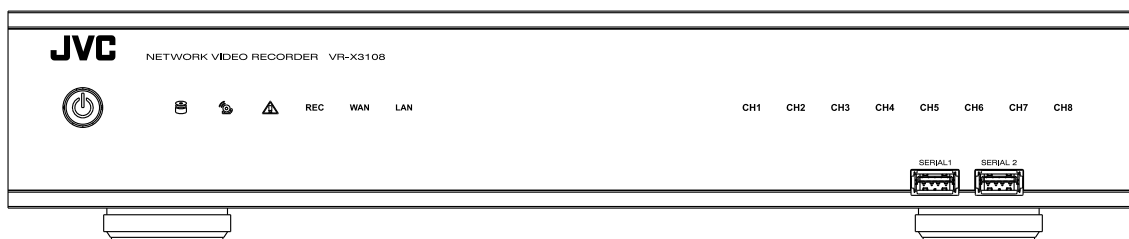




ネットワークビデオレコーダー

型名 **VR-X3108**

クイックユーザーガイド



お買い上げありがとうございます。

ご使用前に CD-ROM 内の「取扱説明書」とこの「クイックユーザーガイド」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは大切に保管し、必要なときお読みください。



製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

| | | |
|--|-----------|--|
|  | 警告 | この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています |
|  | 注意 | この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています |

■ 絵表示の説明

注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意



手をはさまれないよう注意

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線をつなぐ



警告

異常が発生したとき

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- 内部に水や物が入ってしまったとき。
- 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源ケーブルが傷んだとき。（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

次のことに注意してください。

- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さまにしない。



この機器の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



警告

電源や電源ケーブルについて

表示された電源電圧（交流 100 V）以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



船舶などの直流 [DC] 電源に接続しない

火災の原因となります。



トラックやバスなどの DC24V 電源に接続しない

火災の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源ケーブルを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源ケーブルの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源ケーブルを熱器具に近づけない。



電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



電源ケーブルの安全アースを接続する

必ずアース接続を行なってください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



取り扱いについて

内部に物を入れない

通風孔から、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



この機器の（裏ぶた、カバー、キャビネット）ははずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



風呂場など水のある場所で使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときにはご注意ください。



注意

設置について

次のような場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 熱器具の近くなど
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因となります。

- 許容動作温度（5℃～40℃）範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30%RH～80%RH）範囲外の湿気の多いところ（結露なきこと）
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線やX線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
- プールなど、薬剤を使用するところ



注意

この機器の上に重い物を置かない

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



機器を重ねて使用しない

お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。



テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する

接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源や電源ケーブルについて

電源プラグはケーブルの部分を持って抜かない

電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグや接続ケーブル類をはずす

接続したまま移動すると、ケーブルに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



電源ケーブルは、本機に付属のもの以外を使用しない また、付属のケーブルは本機以外の機器で使わない

必ず本機に付属のものをご使用ください。耐圧の異なるケーブルや、傷ついたケーブルを使用すると、火災や感電の原因になります。



専用 AC アダプターを使う

指定以外のものを使用すると火災や感電の原因になることがあります。



取り扱いについて

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

頭からかぶると窒息の原因となります。



お手入れについて

2～3年に一度は内部の掃除を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



お手入れするときは電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。



本機は柔らかい布でふく

シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。



音声・スピーカーについて

聞き終わったら、電源を切る前に、音量を下げる（電子式ボリュームの場合）

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



長時間、音がひずんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



正しくお使いいただく ためのご注意

保管および使用場所

- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。

取り扱いについて

- 本機を縦置きで使用しないでください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものを営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。

免責について

- 動き検出機能は、簡易的な機能であり、警報機の代用として使用することはできません。検出できなかった場合、または誤検出したことによる一切の不便や損害については補償できません。またアラーム入出力に対して動作不具合の場合に発生した不便や損害は補償できません。
- 本機の映像 / 音声によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

ハードディスクドライブについて

- 本機は精密機器であるハードディスクドライブ（以下 HDD）を搭載しております。振動や衝撃を与えないよう取り扱いには十分ご注意ください。特に通電中や HDD へのアクセス中に振動や衝撃を与えると、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- HDD のデータを読み書きするヘッドとディスクの距離はわずか 0.02 μm 程度です。HDD に振動や衝撃が与えられた場合、ヘッドがディスクに衝突し、ディスクの表面に打痕やディスクのかけらが発生することになります。これにより、データが読み出せなくなるばかりか、使用しつづけますとヘッドクラッシュ（損傷）に陥る原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 設置時および設置場所の移動について通電中や電源を切った直後（約 1 分間）は、移動や設置作業は絶対に行わないでください。電源を切っても、HDD はしばらくのあいだは惰性で回転しているため、この間振動や衝撃を与えると HDD の故障の原因になることがあります。衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- HDD は消耗品です。使用環境により異なりますが、周囲温度 25 $^{\circ}\text{C}$ で使用した場合、18,000 時間を目安に交換することをお勧めします。（ただし、この時間は目安であり、HDD の寿命を保証するものではありません。）メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または最寄りのサービス窓口へお願いします。
- システムの安定動作のため、UPS（無停電電源装置）のご使用をおすすめします。
- HDD のフォーマットや切断処理をしているときに停電が発生すると、UPS を接続している場合でも、その後の運用に支障が生じることがあります。
- 万一本機、および HDD などの不具合により、正常に記録できなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- HDD を交換した場合は、記録された画像が消去されます。また、本機のソフトウェアのバージョンアップによって、記録画像が消去されることがありますので、ご注意ください。
- HDD の増設および容量の変更はできません。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 機器設置等で入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去したあと、作業を行なってください。
- 静電気により誤動作をする場合がありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。
- 本機との接続に使用する LAN ケーブルはシールドケーブルの使用を推奨しています。シールドケーブル使用にて安全性、信頼性の確認を行なっています。
- 外来の雑音などによって、アラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるか、シールドタイプのケーブルをご使用いただくなどの処置を行なってください。
- 本機内部のファンは消耗部品です。ファンは 4 年で交換してください。なお、ファンが何らかの原因で停止したときに、メールなどで知らせることができます。
- ファンが停止した場合、または交換の際には、本機の電源を切り、最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

もくじ

| | |
|-----------------------------------|----|
| はじめに | 8 |
| 特長 | 8 |
| 本書の見かた | 8 |
| 各部の名称とはたらき | 9 |
| 前面 | 9 |
| 背面 | 10 |
| 接続 | 11 |
| 一般的な操作 | 13 |
| ログイン | 13 |
| ネットワークカメラを本機に追加する | 14 |
| 「スマートウィザード」簡単登録 | 14 |
| ライブビュー | 15 |
| 基本的な操作 | 15 |
| 検索と再生 | 17 |
| 基本的な操作 | 17 |
| カレンダー | 18 |
| 検索 | 18 |
| 再生 | 20 |
| PTZ 制御 | 21 |
| 操作 | 21 |
| 映像のエクスポート | 22 |
| エクスポート手順 | 22 |
| ソフトウェアについて | 23 |
| ソフトウェア使用許諾契約書 | 23 |
| ソフトウェアに関する重要なお知らせ | 24 |
| GNU GENERAL PUBLIC LICENSE | 24 |
| GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE | 26 |
| こんなときは | 31 |
| 保証とアフターサービス | 32 |
| 仕様 | 33 |
| 付属品 | 35 |

はじめに

本機は、ライブ、録画、再生が可能なコンパクトサイズのネットワークビデオレコーダーです。H.264 High Profile をサポートしています。また、スケジュール録画、ノーマル録画、イベント録画（アラーム入力、動き検出）など複数の録画モードを持ち、最大 8 チャンネルのフル HD 録画が可能です。

特長

- 複雑なネットワーク設定を本体で実現可能。
- フル HD モニターによる高解像度のライブ表示や再生が可能。
- 簡単登録：自動登録により簡単設定を実現。
- 最大 8 チャンネルのフル HD による録画が可能。
- 日付、時刻、イベント、チャンネルを条件にした使いやすい検索機能。
- エクスポートした映像の改ざん検出機能。
- ライブ・再生時のデジタルズーム機能。
- Android デバイス、iPhone、iPad からリモート監視が可能。
- Security Center: 128 チャンネル・カメラを管理するアプリケーションを提供。最大 36 チャンネルの同時監視と 1 台のネットワークビデオレコーダーの再生が可能。最大 16 台のネットワークビデオレコーダーを登録可能。
- PTZ カメラの操作: 本機から PTZ (パン/チルト/ズーム) カメラを直接操作することが可能。

本書の見かた

- **本文中の見かた**

ご注意：操作上の注意が書かれています。

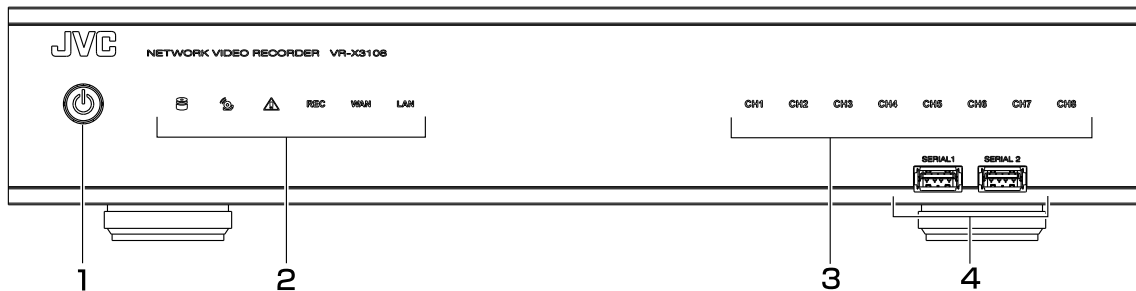
メモ：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

- **本書記載内容について**

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 最新の取扱説明書・クイックユーザーガイドやファームウェアは、弊社ホームページの「ビジネス向け製品・サービス」にてご確認ください。
弊社ホームページ：<http://www3.jvckenwood.com/>

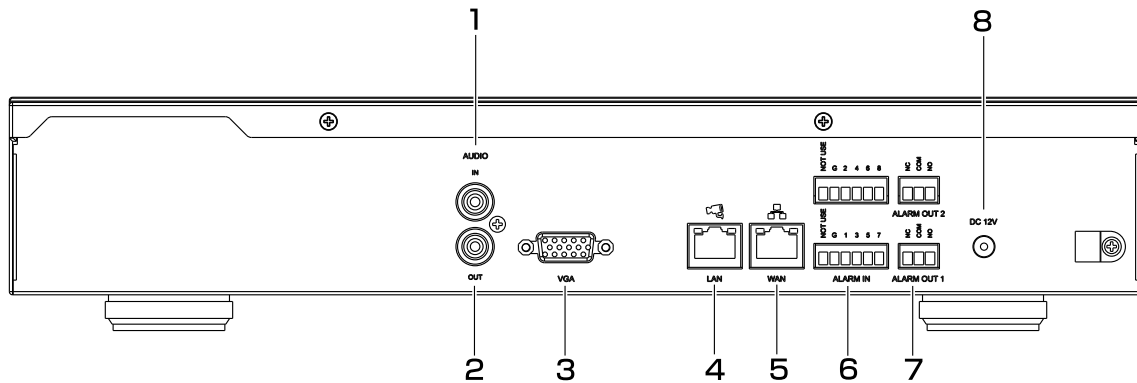
各部の名称とはたらき

前面



| No | インターフェース | 機能 |
|----|---|---|
| 1 |  | 本機の電源をオン/オフします。(オン:青点灯、オフ:オレンジ点灯) |
| 2 |  | HDD インジケータ。HDD にアクセスしているときに点滅します。 |
| |  | アラームインジケータ。アラームが検出されたときに点滅します。 |
| |  | 例外インジケータ。ディスクフル、ディスク故障、ディスクなし、ネットワークロス、不正ログイン、ディスク温度上昇、ファン故障、電源損失、IP コンフリクトなどの例外警告が検出されたときに点滅します。 |
| | REC | [REC] インジケータ。録画中に点灯します。 |
| | WAN | [WAN] インジケータ。WAN ポートがインターネットに接続している場合に点滅します。 |
| | LAN | [LAN] インジケータ。LAN ポートがハブを介してネットワークカメラに接続されている場合に点滅します。 |
| 3 | [CH1] - [CH8] | カメラインジケータ。カメラが接続されているときに点灯します。 |
| 4 |  | シリアル端子。マウス、USB メモリー、UPSなどを接続します。 |

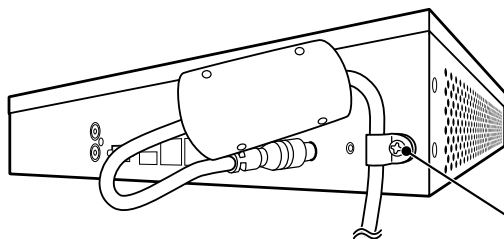
背面



| No | インターフェース | 機能 |
|----|-------------|--|
| 1 | [AUDIO IN] | マイクなどと接続します。(音声送信用) |
| 2 | [AUDIO OUT] | スピーカーまたはその他のオーディオ出力デバイスと接続します。 |
| 3 | [VGA] | モニターの映像入力端子 (D-Sub15 ピン) と接続します。 |
| 4 | [LAN] | RJ-45 ネットワークケーブルでネットワークカメラを接続したハブと接続します。 |
| 5 | [WAN] | RJ-45 ネットワークケーブルでインターネットに接続します。 |
| 6 | [ALARM IN] | 8つのアラーム入力を接続します。 |
| 7 | [ALARM OUT] | NO(メイク接点)またはNC(ブレイク接点)タイプのアラーム信号を出力します。 |
| 8 | [DC 12V] | 付属の AC アダプター (DC12V) を接続します。 |

電源ケーブルの固定

電源ケーブルは、抜け防止のため、次のようにワイヤークランプで固定します。



ねじをはずして電源ケーブルをワイヤークランプにとおしてから、ねじを固定してください。

接続

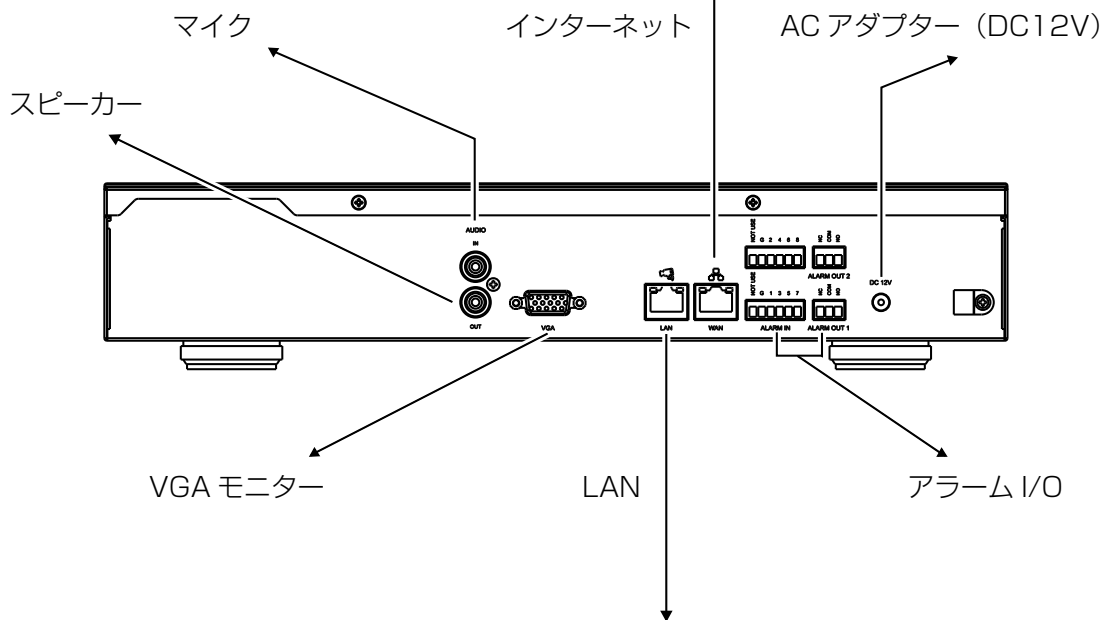
リモート接続

WANポートを介して本機をインターネットに接続します

Security Center

Web Viewer

モバイルデバイス (iOS、Android)



ローカル接続

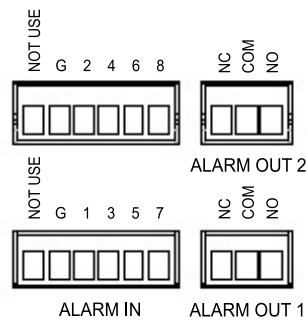
1. ネットワークカメラを接続します。
2. 本機は対応しているネットワークカメラに対して簡単登録が可能です。「自動検索とカメラ登録」を有効にすると、本機は自動的にネットワークカメラを接続する設定を行い、モニターで接続画像をすぐに確認することができます。

メモ

- オーディオケーブルは、シールドタイプをご使用ください。
- LAN ケーブルは、カテゴリー 5 以上の STP (シールドタイプ) をご使用ください。

- **アラーム入力／出力の接続**

本機のアラーム入力／出力インターフェースは次のとおりです。



- **アラーム入力の接続**

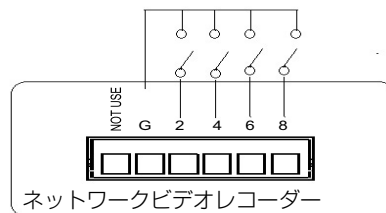
センサーを接続します。8個の入力端子および GND 端子から構成されています。設定により NO（メイク接点）または NC（ブレイク接点）を選択できます。NO(メイク接点)または NC(ブレイク接点) のどちらかで配線します。

- **仕様**

アラーム入力インピーダンス：10kΩ

入力電圧範囲：DC 0V ～ 12V

入力電圧のしきい値：Low 電圧 0.5V 以下、High 電圧 2V 以上



- **アラーム出力の接続**

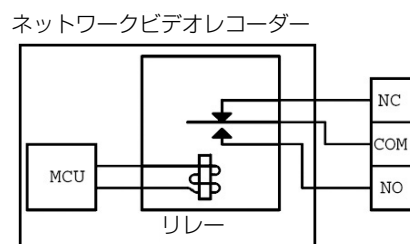
アラーム出力は背面のアラーム出力端子の NO(メイク接点) または NC(ブレイク接点) が利用できます。2つのアラーム出力は、入力アラームとトリガーにตอบสนองします。アラーム出力はリレー接点になっているため、連続して DC 24V、500mA または 10VA の電流が流れないようにしてください。

- **仕様**

スイッチング電流：最大 500mA

スイッチング電圧：最大 DC 24V

ケーブル断面：AWG 26-16 (0.13mm² - 1.5mm²)



一般的な操作

ログイン

ユーザー認証が有効の場合、本機を操作する際にログインが要求されます。

「ユーザー」と「パスワード」欄をクリックし、スクリーンキーボードでシステムにログインするためのユーザー名とパスワードを入力します。



ユーザーレベルは3つに分かれており、次の表に示す異なる権限を持っています。

| 識別 | 管理者 | オペレーター | ゲスト |
|------------------|-------------|----------------|-------------|
| ユーザー名/パスワード | admin / jvc | operator / jvc | guest / jvc |
| ライブを見る | 可 | 可 | 可 |
| OSD 表示 | 可 | 可 | 可 |
| 複数のライブ | 可 | 可 | 可 |
| デジタルズーム | 可 | 可 | 可 |
| パン/チルト/ズーム (PTZ) | 可 | 可 | 不可 |
| 再生 | 可 | 可 | 不可 |
| エクスポート | 可 | 可 | 不可 |
| アラームの確認応答 | 可 | 可 | 不可 |
| 設定 | 可 | 不可 | 不可 |

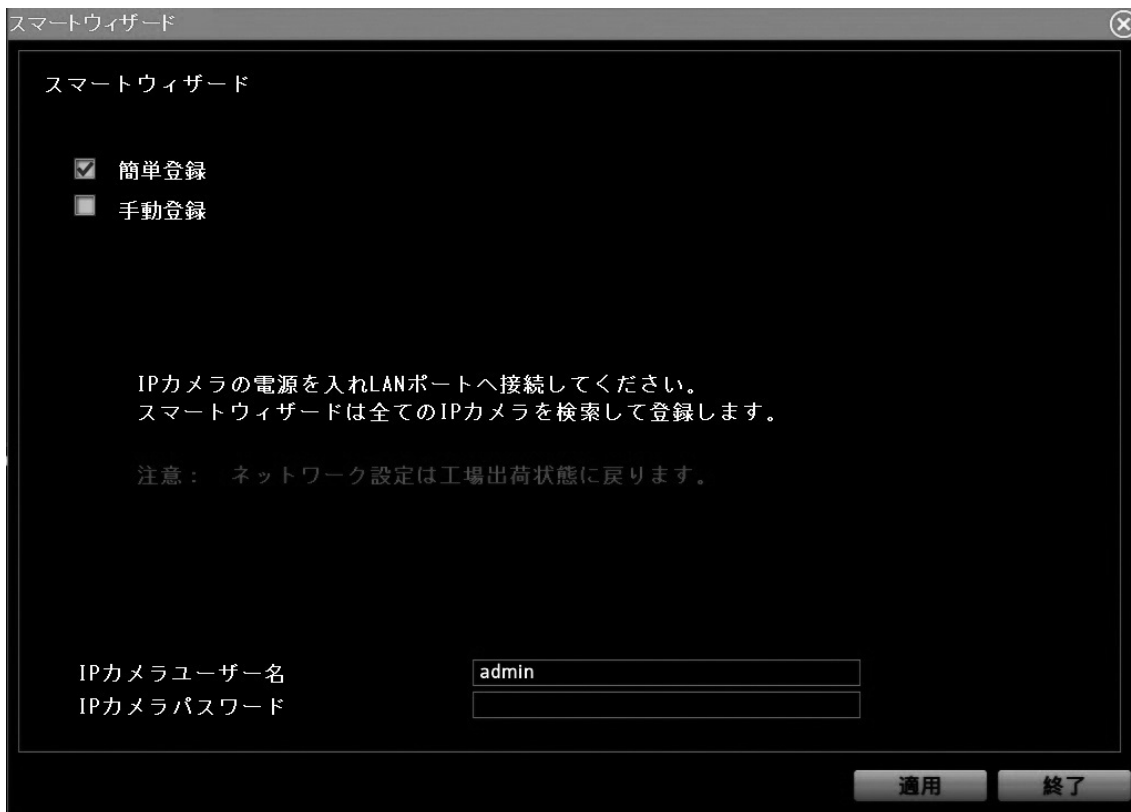
ご注意： 自動ログアウトが有効になっている場合、無操作が続くと設定時間経過後に自動的にログアウトされます。

ネットワークカメラを本機に追加する

「スマートウィザード」 簡単登録

ユーザーが「簡単登録」をチェックすると、本機は LAN に接続されているネットワークカメラを自動的に登録し、映像を表示します。

接続するネットワークカメラは、「簡単登録」機能の使用可能なモデルである必要があります。また、ネットワークカメラの電源がオンになっていることをご確認ください。使用可能モデルは取扱説明書の「付録」の「対応ネットワークカメラ一覧」に記載されているカメラまたは機器です。バージョン 1.00 では VN-H28、VN-H228、VN-H228VPR、VN-H128WPR が「簡単登録」機能の使用可能なモデルです。



あとから「スマートウィザード」を起動したい場合は、ユーザーインターフェースの「設定」→「システム」→「デバイス」→「スマートウィザード」→「開始」から起動することができます。

ご注意： ネットワークカメラが自動的に設定できない場合、ネットワークカメラの電源がオンになっているかご確認ください。

自動検索とカメラ登録（プラグ&プレイ）

設定メニューの「デバイス」で、「自動検索とカメラ登録を有効にする」を有効にすると、自動スキャンが有効になり ネットワークカメラが自動登録されます。

ライブビュー

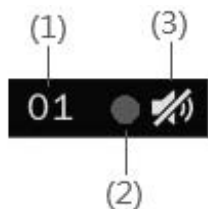
基本的な操作

ログイン後に表示される画面は、ライブビュー画面です。以下でライブビュー画面をA、B、C、D、Eの5つのセクションに分けて説明します。



A. チャンネルインジケータ

各チャンネルの状態が表示されます。



(1) カメラ番号です。各色は次の状態を示します。

青：通常状態。カメラ入力有効になっている

赤：ビデオロス、動き検出、アラームが検出された

(2) 録画状態インジケータです。各色は次の状態を示します。

赤：録画中

灰：録画停止中









(3) 音声アイコンです。

目的のチャンネルの音声アイコンをクリックし音声出力のオン/オフを切り換えます。各色は次の状態を示します。同時に複数チャンネルの音声をオンにすることはできません。








青：音声出力有効

白：音声出力無効

B. 表示モード

| | |
|---|---|
|  | 単画面表示モード |
|  | PIP (Picture in Picture) 表示モード |
|  | 4 分割表示モード |
|  | 9 分割表示モード |
|  | 自動切り替えモード |
|  | OSD の表示 / 非表示 |
|  | 解像度が 1920 x1080 (全画面表示モード) の場合、カメラ名の表示文字数は全角半角ともに 32 文字です。ただし PIP 表示モードの子画面は全角 23 文字、半角は 32 文字です。 |
|  | 全画面表示モードに切り換えます。 |
| 再生 | 再生モードに切り換えます。 |
| ライブ | ライブモードに切り換えます (青色はモード選択中を示します)。 |

C. 機能

| | |
|---|--|
|  | カメラに音声を送信します。アイコンを押している間だけ送信します。 |
|  | アラームが検出されたときにクリックしてブザーと連続アラームを停止します。 |
|  | 設定メニューを表示します。 |
|  | エクスポートメニューを表示します。 |
|  | 単画面表示モードのとき、クリックしてデジタルズーム機能を有効にします。マウスで右クリックしながらドラッグすると選択範囲を拡大することができます。 |
|  | PTZ コントロールパネルを表示します。 |
|  | ログアウトします。 |

D. ライブビュー表示範囲

ライブビュー表示エリアでは、単画面表示から最大9分割（3x3）の分割画面に切り換えてライブ映像を表示することができます。分割画面では、選択中のチャンネルは青いフレームで強調表示され、ダブルクリックすると単画面表示になります。

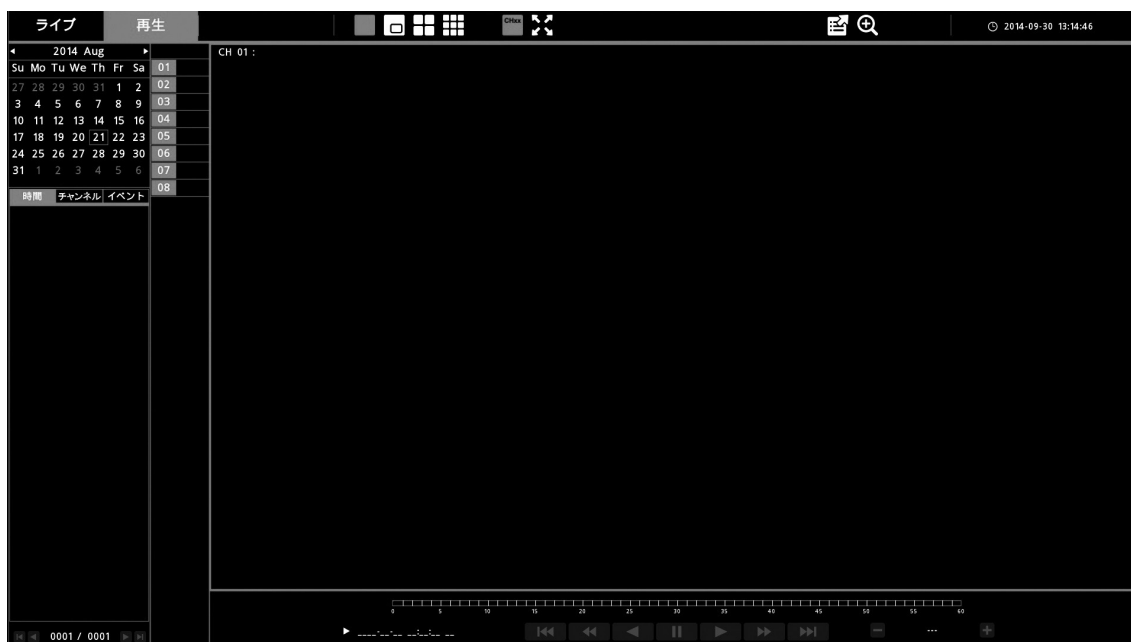
E. 現在時刻表示

現在の時刻が表示されます。

検索と再生

基本的な操作

映像の検索と再生は、[再生] ボタンを押し、再生モードに切り換えます。



再生モードでは、ライブモードと同様に表示モード切り換え、機能操作が可能です。また、特定の録画データを検索して閲覧したり、エクスポートすることができます。

再生モードで録画データの検索や再生を効率的に行う方法について説明します。

カレンダー

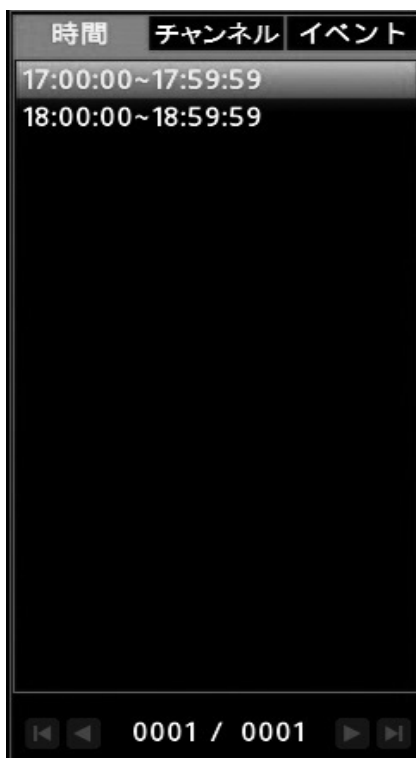
画面上のカレンダーにおいて、薄い青のハイライトは、その日に記録された映像があることを示します。目的の日付をカレンダーから選択しクリックすると、選択した日付の映像を検索することができます。濃い青のハイライトは、現在選択している日付を示します。

| 2014 Aug | | | | | | |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| Su | Mo | Tu | We | Th | Fr | Sa |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

検索

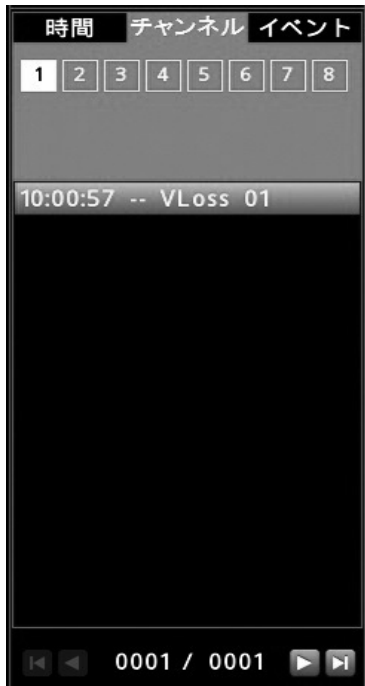
下の欄に検索された映像のリストが表示されます。映像は [時間]、[チャンネル]、[イベント] を条件に検索することができます。検索の種類を選択すると結果がリストに表示されます。リストをダブルクリックすると、再生が開始されます。

[時間] で検索



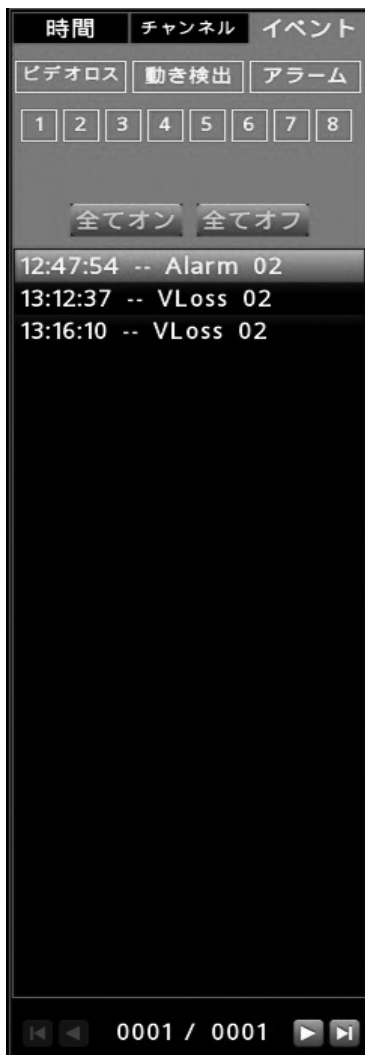
[時間] 検索を選択すると、選択した日付のすべての映像がリストに表示されます。各リストは、最大60分の映像を表します。目的の時間帯をダブルクリックすると、再生が開始されます。

[チャンネル] で検索



検索したい [チャンネル] を選択します。選択された日付とチャンネルのすべての映像がリストに表示されます。目的の映像をダブルクリックすると、再生が開始されます。

[イベント] で検索








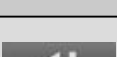

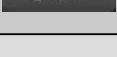





イベントタイプとチャンネルを条件に映像を検索することができます。選択されたイベントタイプ、チャンネルに一致するすべての映像がリストに表示されます。目的の映像をダブルクリックすると、再生が開始されます。

再生

再生機能について以下に示します。




タイムラインは、記録状態と現在の再生状況を示します。タイムラインをクリックすることで任意の時間の映像を再生することができます。青色のタイムラインは録画データがあることを示します。赤色のタイムラインはアラーム記録されたことを表しています。再生に関する操作ボタンは次のとおりです。

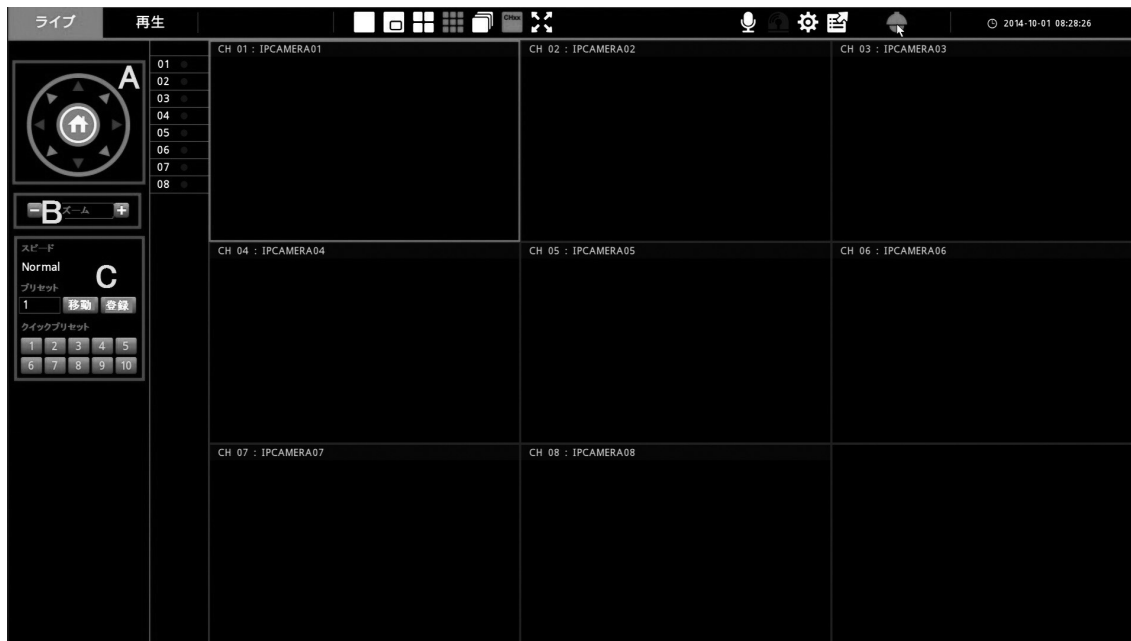
| | |
|---|---|
|  | 再生します。 |
|  | 一時停止します。 |
|  | 逆再生します。 |
|  | 一時停止し、クリックするごとに次のコマを再生します。 |
|  | 次のセクションへ進みます。 |
|  | 一時停止し、クリックするごとにひとつ前の1フレームを再生します。 |
|  | 前のセクションへ戻ります。 |
|  | 早送りします。  、  で再生速度をx0.25、x0.5、x1、x2、x4、x8に変更します。 |
|  | 早戻しします。  、  で再生速度をx1、x2、x4、x8に変更します。 |

※セクションは1定期間の記録映像のまとめりです。本機では1時間です。

PTZ 制御

操作

[PTZ] ボタン  をクリックして次に示す PTZ 制御パネルを表示します。




本機が PTZ カメラに接続されている場合、現在選択しているカメラに PTZ コマンドを送ることができます。コントロールパネルの PTZ コマンドは次のとおりです。

- A. **8 方向パン／チルト**：PTZ カメラを上／下／左／右／右上／右下／左上／左下に動かすことができます。
- B. **「ズーム」**：ズームイン／ズームアウトできます。
- C. **「スピード」**：パン／チルト／ズームの速度を 5 段階に調節できます。
「プリセット」：PTZ の現在の位置をプリセット位置として保存します。プリセット番号を入力し [登録] を押して保存します。[移動] を押すと、プリセット登録された位置に移動します。プリセット番号は 0～99 です。プリセット番号 0 はカメラの HOME 位置です。
「クイックプリセット」：1～10 のボタンを押すとプリセットされた 10 箇所からカメラを効率的に移動できます。

映像のエクスポート



エクスポート手順

本機の HDD から USB メモリーへ書き出すには、[エクスポート] ボタン  を押し、次に示す「エクスポート」画面を表示します。



ご注意： エクスポートを実行する前に本機のシリアル端子にUSBメモリーを接続してください。USBメモリーはFAT形式のみ対応します。

- 「**開始時間**」：[日付 時間] をクリックするとカレンダーが表示され、日付の選択と開始時刻の入力ができます。
- 「**エクスポート時間**」：エクスポートするデータの長さ（分）を入力します。
- 「**チャンネル**」：エクスポートするチャンネルを選択します。（複数選択可能）

データの内容はリストに表示され、リストの下に、合計データサイズと使用可能なUSBメモリーのサイズが表示されます。パスアイコン「」をクリックしてエクスポート先のディレクトリを指定します。エクスポートを開始するには[スタート] ボタンを押します。「パスワード入力」画面が表示されますので、映像にパスワードロックをつける場合は、パスワードを入力します（使用可能な文字：0～9, a～z, A～Z, !@#\$%^&*()_+`{|}:;"<>?-=`[]¥;,. /）。ファイル確認アイコン「」をクリックするとUSBメモリーの中身を確認できます。書き出された映像は「Playback Player」で確認できます。Playback Playerの取得と操作については、取扱説明書の「Playback Player」を参照してください。

- メモ**
- 1時間分の映像をエクスポートした場合にかかる時間の目安は、ビットレート：4Mbps、1チャンネルの場合で約10分です。
 - ディレクトリ名は、半角英数文字が表示できます。

ソフトウェアについて

ソフトウェア使用許諾契約書

JVCケンウッド株式会社（以下、「ライセンサー」）が提供する本体組み込みソフトウェア（以下、「許諾ソフトウェア」）はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权（第3条第1項に定める例外を除く）を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料

を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。

2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者

は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。

2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。

3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。

2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

フリーソフトウェアプログラムのソースコード頒布について

* 本製品にはフリーソフトウェアプログラムが含まれております。お客様にはこれらフリーソフトウェアプログラムのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。

* 本製品に使用していますフリーソフトウェアプログラムのソースコードは、お客様のご依頼で頒布させて頂いております。

* フリーソフトウェアプログラムのソースコードの内容についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

* フリーソフトウェアプログラムのソースコードについては、現状のまま、かつGPL及びLGPLに基づき提供されます。

フリーソフトウェアプログラムに関する保証について

フリーソフトウェアプログラムは、商品性や特定の目的への適合性に関する暗黙の保証も含めてお客様に明示的にも暗黙にも一切の保証・責任を負うことなく使用許可されるものです。

これらのフリーソフトウェアプログラムの品質及び性能に関して生じた損害に関しまして当社は一切責任を負いません。

フリーソフトウェアプログラムのソースコード請求先

<http://www3.jvckenwood.com/download/gpl/>
(JVCケンウッド 日本語サイト)

AVC Patent Portfolio License

* THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and

that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change. b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License. c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that

work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or, b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or, c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent

license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to

the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome
to redistribute it under certain conditions; type `show c'
for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence

the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by

limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These

actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NOWARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND

PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found. one line to give the library's name and an idea of what it does.

Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

=====

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit;

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* =====  
* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.  
*  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
* modification, are permitted provided that the following conditions  
* are met:  
*  
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
*  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in  
* the documentation and/or other materials provided with the  
* distribution.  
*  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this  
* software must display the following acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"  
*  
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to  
* endorse or promote products derived from this software without  
* prior written permission. For written permission, please contact  
* openssl-core@openssl.org.  
*  
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"  
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written  
* permission of the OpenSSL Project.  
*  
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following  
* acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"  
*  
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY  
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE  
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR  
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR  
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,  
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT  
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;  
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,  
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)  
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED  
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.  
* =====  
*  
* This product includes cryptographic software written by Eric Young  
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim  
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).  
*  
*/
```

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)  
* All rights reserved.  
*  
* This package is an SSL implementation written  
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).  
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.  
*  
*/
```

```
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as  
* the following conditions are aheared to. The following conditions  
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,  
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation  
* included with this distribution is covered by the same copyright terms  
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).  
*  
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in  
* the code are not to be removed.  
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution  
* as the author of the parts of the library used.  
* This can be in the form of a textual message at program startup or  
* in documentation (online or textual) provided with the package.  
*  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
* modification, are permitted provided that the following conditions  
* are met:  
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the  
* documentation and/or other materials provided with the distribution.  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software  
* must display the following acknowledgement:  
* "This product includes cryptographic software written by  
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"  
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library  
* being used are not cryptographic related :-).  
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from  
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:  
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"  
*  
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND  
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE  
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE  
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE  
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL  
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS  
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT  
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY  
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF  
* SUCH DAMAGE.  
*  
* The licence and distribution terms for any publically available version or  
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be  
* copied and put under another distribution licence  
* [including the GNU Public Licence.]  
*/
```

こんなときは

| 症状 | 処置 |
|--------------|--|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none">電源ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。 |
| カメラが自動認識されない | <ul style="list-style-type: none">各カメラの取扱説明書にしたがい、IP 設定を確認してください。DHCP サーバーを使用している場合は、本機が起動している状態でカメラの電源をいったんオフにしてからオンにしてください。カメラのユーザー名とパスワードが初期設定から変更されている場合、自動で検出できないことがあります。 |
| 操作できない | <ul style="list-style-type: none">ログアウトされていないか確認してください。 |
| 録画されない | <ul style="list-style-type: none">スケジュール設定が録画になっているか確認してください。 |

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品は保証書をクイックユーザーガイド内に記載しております。

製造番号は、クイックユーザーガイド(冊子)内の保証書に記載または貼付されています。製造番号、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

ご注意：製造番号が記載または貼付されていない保証書は無効となります。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。

その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口

・下記 URL をご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>

・カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は、保証期間内でも有償となります。

| 部品名 | 備考 |
|-----|--|
| HDD | 18,000 時間 (約 2 年) のご使用をめやすにメンテナンスしてください。 |
| ファン | 40,000 時間 (約 4 年) のご使用をめやすにメンテナンスしてください。 |

・メンテナンスまでの時間は、25℃環境で使用したときのめやすであり、使用環境により異なります。

メンテナンスの計画、費用などのご相談は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にご連絡をお知らせください。

| | |
|--------|------------------|
| 品名 | ：ネットワークビデオレコーダー |
| 型名 | ：VR-X3108 |
| お買い上げ日 | ： |
| 故障の状況 | ：故障の状態をできるだけ具体的に |
| ご住所 | ： |
| お名前 | ： |
| 電話番号 | ： |

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

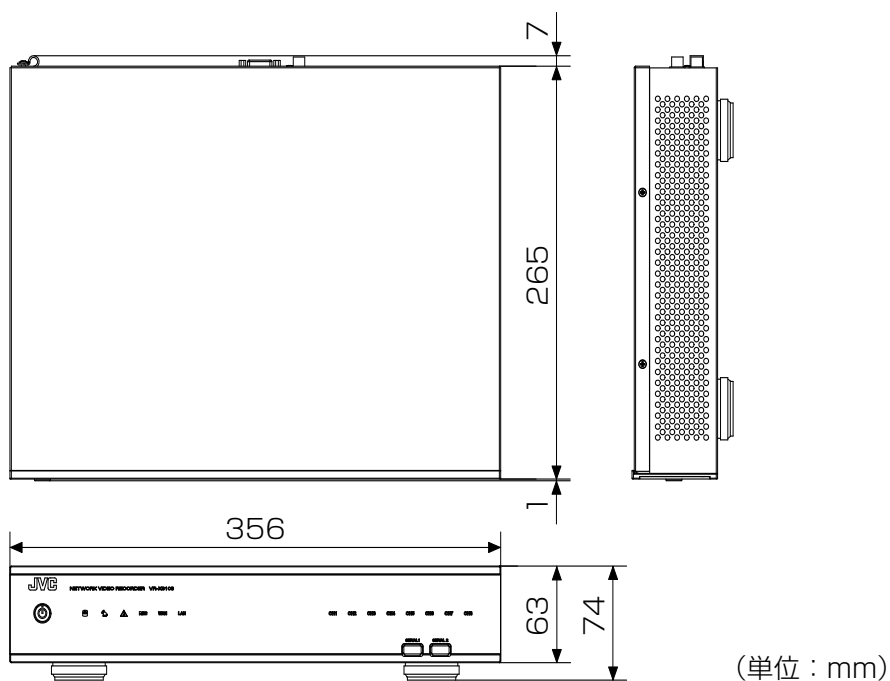
仕様

| システム | |
|-------------------------|--|
| 操作 | ライブ、録画、再生、エクスポート、リモートアクセス |
| 内部ストレージ | SATA HDD × 1 (4 TB) |
| 映像 | |
| 圧縮 | H.264 High Profile 最大フル HD 30 ips |
| ネットワークカメラ入力 | 8 チャンネル、各最大フル HD 30 ips |
| 音声 | |
| 入力 | RCA × 1 (音声送信用) |
| 出力 | RCA × 1 |
| 音声録音 / 再生 | 可能 |
| 表示 | |
| 表示モード | 単画面 / 分割画面 / PIP / 自動切り替え / 全画面表示 |
| 出力 | 出力 : VGA (D-Sub15 ピン) (最大 フル HD、60 Hz) × 1 |
| 自動切り替え | 可能 |
| リモートビュー | 可能 (IE Web Viewer、Security Center) |
| スマートフォン / タブレット PC での表示 | 可能 (iOS、Android) |
| 録画 | |
| 録画モード | スケジュール録画、ノーマル録画、イベント録画 |
| 録画性能 | 最大 240 ips のフル HD (1920x1080) |
| プリ記録 | 0 ~ 5 秒 |
| ポスト記録 | 0 ~ 255 秒 |
| 再生とエクスポート | |
| 表示モード | 単画面 / 分割画面 / PIP / 全画面表示 |
| 再生機能 | 8 チャンネル同時再生 |
| 再生制御 | 再生 / 一時停止 / ステップ / 早送り / 巻き戻し / 早戻し |
| 検索 | チャンネル、日付 / 時刻、イベントによる検索 |
| エクスポート | USB メモリー / Web ページ / Security Center より可能 |
| ネットワーク | |
| サポート | TCP/IP、SMTP、DHCP、DDNS、PPPoE、UDP、SSL、RTP、RTSP、NTP |
| イーサネット | 10/100 Mbps (WAN) × 1、10/100/1000 Mbps (LAN) × 1 |

| | |
|---------------|---|
| 再生配信 | 最大 8 チャンネルの配信 |
| ライブ配信 + 再生配信 | 最大 32 チャンネルの配信 |
| I/O | |
| シリアル | 2 (マウス、USB メモリー、UPS 用) |
| アラーム | 8 アラーム入力 2 アラーム出力 |
| セキュリティ | |
| 改ざん検出 | 可能 |
| ユーザーの権限 | 3 段階のユーザーアクセスレベル |
| 一般 | |
| 使用電源 | AC アダプター 入力 AC 100 V 50 Hz/60 Hz 出力 DC 12 V 7 A |
| 消費電流 | 1.6 A 以下 (最大 2.4 A、消費電力 21 W 以下) |
| 許容動作温度 | 5 °C ~ 40 °C |
| 許容動作湿度 | 30% RH ~ 80% RH (結露なきこと) |
| 質量 | 約 2.5 kg |

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図



付属品

このパッケージには、以下が同梱されています。

- クイックユーザーガイド× 1
- AC アダプター× 1
- 電源ケーブル（約 1.8 m）× 1
- CD-ROM（取扱説明書／クイックユーザーガイド／Security Center）× 1
- ターミナル（アラーム端子ブロック）× 4

| | | | |
|-----------------|----------|------|---|
| ※お客様 | お名前 ふりがな | | 様 |
| | ご住所 〒 | | |
| | 電話番号 () | | |
| 型名 | | 製造番号 | |
| VR-X3108 | | | |
| 保証期間 (お買い上げ日より) | | | |
| 本体: 1年間 | | | |
| ※お買い上げ日 | | | |
| 年 月 日 | | | |
| ※取扱販売店名、住所、電話番号 | | | |

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、及びその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取り扱いについての説明書及び本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理をさせていただきます。お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

お問い合わせ先：
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
☎0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は
045-450-8950

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

※印欄は必ず記入ください。

3. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

- 本書のご提示がない場合。
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合、及び本書に記載の字句(製造番号など)を書き換えられた場合。
- ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- 火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
- 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
- 特殊な環境条件下での故障及び損傷。
- 各部の点検又は定期保守の費用。
- 消耗品(電池、カメラの撮像素子、ランプ、モーター、HDD、液晶パネルの経時による劣化や残像や焼付け、表示ムラ、及び取扱説明書に記載されている消耗部品など)の部品代、交換技術料。また、1年間を超える保証期間の場合、お買い上げ日から1年間経過後は、上記消耗品の他にカメラ付属のレンズ組立も有料になります。
- 出張修理対象商品の場合。
離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 持込み修理対象商品の場合。
修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様の負担とさせていただきます。
また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担とさせていただきます。

4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。尚、故障、その他による営業上の機会損失や記録内容等ソフト内容の補償は致しかねます。この保証書によって(株)JVCケンウッド、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちに お買い上げ販売店にお申し出ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合や、ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼に出来ない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

☎0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話(045)450-8950 [代表]
FAX(045)450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12